

令和4年度 第8回臨時部長会議 会議記録（要旨）

開催日時：令和5年3月13日（月） 11時00分から12時00分まで

開催場所：A301-302会議室

出席者：佐藤市長、高田副市長、原田総務部長、塚平企画部長、細田リニア推進部長、塚平市民協働環境部長、高山健康福祉部長、串原産業経済部長、米山建設部長、毛利建設部参事、田中危機管理部長、土屋上下水道局長、齊藤市立病院事務局長、北原会計管理者、和泉議会事務局長、松下教育委員会参与、佐々木財政課長、小室秘書課長、小椋南信州広域連合事務局次長、林企画課長

会議内容

1 理事者あいさつ

<市長>

- ・本日の案件は、なぜなぜ分析により今回の件がなぜ起こったかを、人事課を中心として部局の皆さんとしっかり分析を行った結果も含めて示すもの。その分析の過程を含めて、他人事と思わずに自分事として受け止め、全職員に共有すること。
- ・本日からマスク着用については、個人の判断となったので承知しておいていただきたい。

<副市長>

- ・監査委員から、未だに支出負担行為の遅れや漏れ、調定の遅れなどの指摘がある。起票する立場、チェックする立場それぞれが、自分のこととして思い至るようにしなければいけない。

2 報告事項

(1) 契約に係る議会未提出案件及び職員の不適切な事務処理等について（総務部）

◇趣旨

契約に係る議会未提出案件及び職員の不適切な事務処理等について報告する。

◇意見（契約に係る議会未提出案件について）

（危機管理部長）

- ・本件には「共有」という表現が使われており、誰かが気が付いていたがそれが「共有」されなかったことに問題があったということになるが、そもそも今回の事案では、誰も気が付くことができなかったことに問題があるため、「認識していなかった」とする表現にするべきではないか。

（財政課長）

- ・双方向からの共有ということではあるが、誰も気が付くことができなかったことは事実である。「認識」という表現に修正する。

（企画部長）

- ・結果的になぜなぜ分析で得られた再発防止策と議会から求められている改善内容が同じ内容となっており、議会からの指摘を行っただけと受け止められかねない。なぜなぜ分析の結果として、議会からの指摘と同一となったとすれば、見直し後の業務フローと再発防止の項目のところにも記載するなど検討すること。

（市長）

- ・見直し後の業務フローと再発防止の項目に、業務フローの見直しや進行管理の記載はあるため、研修を実施することの記載を追加すること。

（財政課長）

- ・分析の結果を取組内容として記載する。

◇意見（職員の不適切な事務処理等について）

（企画部長）

- ・管理職のマネジメントに関する再教育とは何か。

（人事課長）

- ・これまでの管理職研修は、例えば女性活躍など、その年ごとの課題をテーマに行ってきたところだが、今後は、そもそもマネジメントとはということからしっかりやっていくということ。

(企画部長)

- ・業務フローと再発防止策の項目内に再発防止策を記載すること。

(会計管理者)

- ・「公金の支払い事務については」と限定した記載となっているが、「会計事務については」とした方が良い。
- ・会計年度任用職員の任期や職員の異動などにより、年度途中で職員が変わってしまった場合、基本的な研修の実施をどのようにおこなっていくかが課題である。
- ・会計課では、会計事務の基本的なところはWebサイトに掲載したものがあため、それを見ていただいてから会計事務に携わっていただくようにすることを考えている。多くの場面を想定して、そういった対策を考えておく必要があるのではないか。

(企画部長)

- ・そういった対応ができるものは共有する必要がある。

(人事課)

- ・会計や文書事務については、改めて確認できるようにしてあるため見ていただきたい。
- ・会計年度任用職員など年度途中で職員が変わってしまう場合の研修については、来年度eラーニングのシステムを導入することなどで対応していきたい。

(上下水道局長)

- ・研修の実施率について把握しておくこと。

(教育委員会参与)

- ・事案に対する対応について、いきなり全庁的な話になってしまっているが、事案が発生した部署においてどのような対策を行ったのかを明確にした上で、それをどのように全庁的な対策につなげたかを説明したほうが良い。体制の見直しといっても、具体的な取組が見えないと本当に改善につながるのかが分からない。

(企画部長)

- ・事案発生後から時間が経過し年度末となっているため、個別部署での対策ではなく、全庁的にどのように改善してきたかを聞かれていると思われる。

(総務部長)

- ・細かい部分について指摘があることは想定しているが、大きい話としては、10年前の損害賠償、今回の契約案件、と続いているため、3回目はないと肝に銘じてやっていく意識を全職員が持つ必要がある。管理職の職員から意識改革していかなければいけない。

(教育委員会参与)

- ・大きいことだけが必要ということではなく、小さいことの両方で説明していく必要があるのではないか。また、議会未提出案件についても、過去の部分も含めて議決事項は何かを押さえておくことも必要になる。個に注目した対応と全体としての対応の両面から説明していく方が良い。

(人事課長)

- ・なぜなぜ分析を実施する中で、個別の部分の問題に対する対応策と、その上での全体としての対応策を記載しているため、個別の再発防止策として事案が発生した部署での取組も記載する。

(市長)

- ・管理職の研修は、毎年新任だけでなく全員に実施するが、今年度は実施しているか。

(人事課長)

- ・研修テーマは毎年異なっているが、全管理職に実施している。

(企画部長)

- ・対策については、出来ていることと出来ていないことが分かるよう記載すること。

3 閉会